

安全データシート

ページ: 1/9

BASF 3D Printing 安全データシート

日付 / 改訂: 21. 04. 2020

製品: **Ultrafuse® ABS Silver**

バージョン: 1.0

(11128029/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日 09.01.2023

1. 製品及び会社情報

Ultrafuse® ABS Silver

推奨用途: 3D印刷, 工業的用途のみに使用のこと。

会社名:

BASF 3D Printing Solutions B.V.

Eerste Bokslootweg 17

7821 AT Emmen, Netherlands

電話番号: + 31 591 820 389

FAX番号: +31 (0) 6 53 49 74 35

Eメールアドレス: sales@basf-3dps.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】:

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

【GHSラベル要素】:

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

他の危険有害性:

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

BASF 3D Printing 安全データシート
日付 / 改訂: 21. 04. 2020
製品: Ultrafuse® ABS Silver

バージョン: 1.0

(11128029/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日 09.01.2023

3. 組成及び成分情報

化学特性

単一製品・混合物の区別: 混合物

ポリマー

有害性は特になし。

4. 応急措置

[一般的なアドバイス]:
汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:
新鮮な空気の場所に移動させ、安静にすること。必要に応じて呼吸補助具を使用する。症状が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:
石鹸と水で完全に洗い流すこと。溶融物による熱傷については、医師の診察を受けること。刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[眼に入った場合]:
眼に入った場合、大量の水で15分以上洗い流すこと。刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。

[飲み込んだ場合]:
口をすすぎ、そして200-300mlの水を飲む。嘔吐を生じさせないようにする。医師の診察を受けること。

[医師に対する特別な注意事項]:
症状: (他の) 症状や影響については現時点で知られていない。
危険有害事項: 意図された用途と適切な取り扱いをすれば、危険性はないと考えられる。
処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:
噴霧水, 泡, 粉末

[特有の危険有害性]:
スチレン, アクリロニトリル, ヒューム/煙, 炭素酸化物, 窒素酸化物
微量の記載された物質及びそのグループ物質が、火災や過度の熱の発生により放出されることがある。

BASF 3D Printing 安全データシート
日付 / 改訂: 21. 04. 2020
製品: **Ultrafuse® ABS Silver**

バージョン: 1.0

(11128029/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日 09.01.2023

[消火を行う者の保護具]:
自給式呼吸器を着用すること。

[追加情報]:
埃っぽい環境では、火花を生じるような発火源が存在すると、爆発的に発火することがある。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項]:
注意事項は特になし。

[環境に対する注意事項]:
土壌、水路、または排水溝に流さないこと。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:
少量の場合: 掃き集めるかすくい取る。
大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。漏洩物を吸引する。
もし可能ならば、製造に再利用する。十分な換気を確保すること。粉塵を発生させないこと。除染後、流出エリアは水で洗浄できます。

[追加情報]: 空気中に埃をまき散らすことを避ける (例: 圧縮空気です埃の面をクリーニングする)。粉塵の生成と蓄積を避けること。粉塵爆発の危険性。粉塵の濃度が十分になると、空気中に爆発性混合物が発生する可能性がある。散粉が最小限となるように取扱い、直火及び他の発火源を除くこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

粉塵／ミスト／蒸気を吸入しない。十分な換気を確保すること。乾燥工程及び周辺の加工機械に適切な排気装置を設置する事。着火源から離して保管すること。禁煙。静電気放電に対する予防措置を講ずること。粉塵の発生および堆積を防ぐこと。

安全取扱注意事項:

粉塵を発生させない。粉塵の濃度が十分になると、空気中に爆発性混合物が発生する可能性がある。散粉が最小限となるように取扱い、直火及び他の発火源を除くこと。表面に埃が蓄積しないことを確実にするために、定期清掃を確立すること。

[保管]

保管条件に関する追加情報: 容器を密閉して保管すること。過熱を避けること。あらゆる着火源 (熱、スパーク、裸火など) を近づけない。

保管安定性:

長期保管を避けること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

アルミニウム, 7429-90-5;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 1 mg/m³ (ACGIHTLV), 吸入域フラクシオン

TLV (threshold limit value : 管理濃度) 0.025 mg/m³ (労働安全衛生法 (JP)), 粉塵

暴露限界は、100%遊離シリカの値を用いて方程式 $3.0/[1.19*(\% \text{ 遊離シリカ})+1]$ から計算される。

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.5 mg/m³ (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), 吸入性粉塵

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 2 mg/m³ (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), 総粉塵

【保護具】

[呼吸用保護具]:

呼吸保護具（もしエアゾール/粉塵が発生した場合）呼吸保護具（換気の悪い場合）固体微粒子および液体微粒子に対して中程度の有効性を示す粒子フィルタ。（例：EN 143 P2型もしくはEN 149 FFP2型）。

[手の保護具]:

耐薬品性保護手袋を着用すること。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:

標準作業服と靴

[一般的な安全及び衛生対策]:

機械処理および/又は熱溶解状態の間、接触を防止するために保護衣を着用する。手袋の使用後、皮膚洗浄剤と皮膚化粧品を用いること。

9. 物理的及び化学的性質

形状:	繊維状
色:	銀色
臭い:	無臭
臭いのしきい値:	適用せず、臭気を知覚できない

pH:

測定されていない。

融点:	測定されていない。
沸点:	適用せず
引火点:	適用せず
蒸発率:	この製品は、不揮発性固体である。
燃焼性 (固体/ガス):	引火性ではない。
爆発範囲の下限:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。
爆発範囲の上限:	分類と表示に関係しない固体用に関するものである。
発火温度:	測定されていない。
熱分解:	> 300 ° C
自己発火性:	自己発火性なし。
自己発熱性:	自己発熱性物質ではない。
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。
放射能:	輸送目的用に放射能はない
蒸気圧:	適用せず
相対密度:	1.05 – 1.07 (25 ° C)
相対蒸気密度 (空気):	適用せず
水に対する溶解性:	無視できる
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow):	混合物には適用されない
粘度:	固体のため、未測定
動粘性率:	固体のため、未測定

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

温度: $> 300^{\circ}\text{C}$

高温に長時間さらされると、密閉容器内の圧力上昇を伴う発熱分解が起こるおそれがある。あらゆる着火源（熱、スパーク、裸火など）を近づけない。

熱分解: $> 300^{\circ}\text{C}$

[混触危険物質]:

酸化剤

金属の腐食: 金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

[危険分解物]:

アクリロニトリル, スチレン

モノマー, ガス／蒸気, 酸化物, 炭化水素類

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の評価:

溶融物に接触すると、熱傷になることがある。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

刺激性

刺激性作用の評価:

弱い皮膚刺激を起こすことがある。弱い眼刺激を起こすことがある。弱い呼吸器系の刺激を起こすことがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

感受性が特に高い個体に対する感作作用は否定できない。

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

データ不足のために分類されていない。

発がん性

発がん性の評価:
データ不足のために分類されていない。

生殖毒性

生殖毒性の評価:
データ不足のために分類されていない。

発生毒性

催奇形性の評価:
データ不足のために分類されていない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露:

単回暴露評価:
入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

反復投与毒性と特定標的臓器毒性、反復ばく露

反復投与毒性の評価:
この製品について入手できる情報では、反復暴露後に特定標的臓器毒性の兆候はない。

吸引性呼吸器有害性

予測される吸入危険性はない。

12. 環境影響情報

環境毒性

水生生物に対する毒性の評価:
本品は未試験である。記述は、本品の構造に基づくものである。水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

移動性

環境区分間の輸送評価:
固形土壌相への吸着が可能である。

生体蓄積性

生体蓄積性:
本品の安定性と水に対する不溶性のため、生物への悪影響は考えにくい。

BASF 3D Printing 安全データシート
日付 / 改訂: 21. 04. 2020
製品: Ultrafuse® ABS Silver

バージョン: 1.0

(11128029/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日 09.01.2023

[追加情報]

その他の環境毒性情報:

この製品は構成成分のデータに基づき評価された。個々の成分のデータとは部分的に差が生じることがある。

13. 廃棄上の注意

国内の法令に従い廃棄するか焼却すること。

欧州廃棄物リスト (European waste catalog : EWC) による廃棄物コードを指定することは不可能である。使用法により廃棄物コードは異なる。

欧州廃棄物カタログ (EWC) に従った廃棄コードは、役所/製造者/官庁と協力して決定しなければならない。

[汚染された容器]:

汚染された容器は製品と同様に廃棄する。

汚染されていない容器は再利用できる。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

Sea transport

IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

Air transport

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

15. 適用法令

消防法: 非危険物, 指定可燃物・合成樹脂類 (その他のもの)

その他の規則

BASF 3D Printing 安全データシート
日付 / 改訂: 21. 04. 2020
製品: **Ultrafuse® ABS Silver**

バージョン: 1.0

(11128029/SDS_GEN_JP/JA)

印刷日 09.01.2023

16. その他の情報

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。